

山王病院脳神経外科

高橋浩一

脳脊髄液減少症や水頭症など脳脊髄液循環障害を専門に診療を行っています。母校、東京慈恵会医科大学の建学の精神である「病気を診ずして病人を診よ。」の理念に基づき、患者様のニーズに合わせた良質な医療を提供するように心がけています。

■プロフィール

昭和40年5月12日 仙台市に生まれる

昭和57年3月 東京都練馬区立大泉西中学校卒業

昭和59年3月 東京都立富士高等学校卒業

昭和59年4月 東京慈恵会医科大学入学

平成 2年3月 同上卒業

平成 2年5月 東京慈恵会医科大学脳神経外科入局

臨床の傍ら中枢神経系の発生学・奇形学の研究を行う

平成 7年8月 日本脳神経外科学会専門医取得

平成12年4月 東京慈恵会医科大学医学博士修得

平成12年9月 川淵賞受賞（小児脳神経外科学会年間最優秀論文）

平成12年12月 ロサンゼルス小児病院/南カリフォルニア大学留学

留学中は、脳脊髄液循環の生理学・病理学を学び、脳脊髄液循環障害に悩む方々の治療を専門とした大きなきっかけになる

平成14年7月 東京慈恵会医科大学脳神経外科診療医員及び助手

平成15年3月 東京慈恵会医科大学小児脳神経外科診療医長

平成15年12月 東京慈恵会医科大学脳神経外科診療医員及び助手

平成18年3月 東京慈恵会医科大学退職

平成18年4月 順和会 山王病院脳神経外科

現在に至る

■所属学会

日本脳神経外科学会
日本小児神経外科学会

■賞

平成12年9月 川淵賞受賞（小児脳神経外科学会年間最優秀論文）

■受賞論文

高橋浩一，中崎浩道，中原成浩，田中英明，阿部俊昭. 頭蓋披裂の病因に関する実験的研究 -GFAPの発現状況からみた病態解析-. 小児の脳神経 1999；24：358-362.

■その他

日本ボクシングコミッションドクター

趣味：スポーツ、音楽など

運動歴：

中学時代より、バドミントン、陸上競技（中、長距離走）を始める

【主な成績】

○バドミントン

中学時代	団体	東京都大会優勝
	個人	東京都大会ダブルス 3 位
高校時代	個人	東京都大会 ダブルス ベスト 8
大学時代	団体	全日本医科学生体育大会優勝
	個人	東日本医科学生体育大会 ダブルス 2 位
		シングル ベスト 8

○陸上競技

中学時代 練馬区大会 男子 3000m 3 位

練馬区駅伝競走大会 2年連続優勝
区間第2位 (3年生時)
東京都駅伝競走大会 3位
大学時代 3校対抗戦 男子1500m 3位

また、学生時代の運動実績が評価され、平成2年に東京慈恵会医科大学学生特別賞を受賞しています。

音楽歴：

専門：ベースギター
その他、ギター、キーボード

バンド歴：

“The Bad Boys” “Rim Shoot” (高校時代) “Sexy Doctors” (平成4年)

■業績目録

A. 自著論文

- (1) 高橋浩一, 阿部俊昭, 田沢公一, 尾上尚志. くも膜下出血にて発症した脊髄神経鞘腫の一例. 脳神経外科速報 1992; 2: 489-491
- (2) 高橋浩一, 松本賢芳, 西田伸, 結城研司. 重症頭部外傷のCTとMRI所見 -特に遷延性意識障害を示した症例. 富士市立中央病院学術雑誌 1993; 7: 39-42.
- (3) 高橋浩一, 松本賢芳, 尾上尚志, 結城研司. くも膜下出血に伴う循環器障害. 富士市立中央病院学術雑誌 1994; 8: 16-18.
- (4) 高橋浩一, 松本賢芳, 尾上尚志, 結城研司. くも膜下出血患者の管理について. 富士市立中央病院学術雑誌 1994; 10: 32-34.
- (5) 高橋浩一, 橋本卓雄. 脳神経の解剖 嗅神経・視神経. JOUNS 1997; 13: 1609-1613.
- (6) 高橋浩一, 田中英明, 中崎浩道, 寺尾亨, 阿部俊昭, 中原成浩. マウス胎生期脊髄神経管構成細胞におけるPropentofylineの影響について. 薬理と臨床 1998; 26: 769-772.
- (7) 高橋浩一, 中崎浩道, 中原成浩, 田中英明, 阿部俊昭. 頭蓋披裂の病因に関する実験的研究 -GFAPの発現状況からみた病態解析-. 小児の脳神経 1999; 24: 358-362.
- (8) Takahashi K, Tanaka H, Nakahara S, Nakazaki H, Terao T, Abe T.

The pathogenesis of myeloschisis: Experimental studies. Spina Bifida 1999 ; 250-255.

- (9) 高橋浩一, 村上成之, 小川武希, 田中順一, 阿部俊昭. 動眼神経に腫瘍を形成した小児未分化膠腫の一例. 脳神経外科ジャーナル 2001 ; 10 : 492-495.
- (10) 高橋浩一: Book and Journal Review; A Model of Pulsations in Communicating Hydrocephalus. 小児の脳神経 2002; 27: 420-421.
- (11) 高橋浩一: Book and Journal Review; Choroid Plexectomy Reduces Neurosurgical Intervention in Patients with Hydroanencephaly. 小児の脳神経 2003; 28: 52-53.
- (12) 高橋浩一: Book and Journal Review; Death after late failure of third ventriculostomy in children. Report of three cases. 小児の脳神経 2003; 28: 432-433.
- (13) 高橋浩一, 谷諭, 長島弘泰, 磯島晃, 阿部俊昭. 脊髄軟膜下脂肪腫の 5 症例における病態と治療指針の検討. 脊髄外科 2005; 19: 211-219
- (14) 高橋浩一, 小川武希. 頭部外傷 頭蓋底骨折. 臨床神経学 2005; 23: 545-547
- (15) 高橋浩一, 小川武希. 小児脳外傷の疫学 —頭部外傷データベース検討委員会小児症例における検討—. 臨床リハ 2005; 14: 889-895
- (16) 高橋浩一, 美馬達夫. 外傷後振戦および尿失禁に対し、ブラッドパッチが効果を示した脳脊髄液減少症の一例. 脳脊髄液減少症データ集 Vol. 1 2007; 91-94
- (17) 高橋浩一, 美馬達夫. 小児期に発症した脳脊髄液減少症9例の検討 —臨床像とその対応—. 小児の脳神経 (投稿中)

B. 共著論文

- (1) 田中俊英, 安江正治, 中原成浩, 阿部聡, 高橋浩一, 阿部俊昭. 頭蓋内多発転移と脊髄播種をきたしたGliosarcomaの一例. 慈恵医大誌 1995 ; 110 : 141-6.
- (2) 沢内聡, 加部茂彦, 高橋浩一, 秋山雅彦, 宿谷郁男, 村上成之, 小川武希, 阿部俊昭. 低体温療法により救命し得たalveolar soft part sarcomaの脳転移の1例. 脳神経外科ジャーナル 1997 ; 6 : 408-12.
- (3) 石橋敏寛, 長島弘泰, 高橋浩一, 沢内聡, 村上成之, 常喜達裕, 小川武希, 阿部俊昭. 後頭蓋窩腫瘍摘出後cerebellar mutismを呈した一例. 脳神経外科ジャーナル 1998 ; 7 : 591-5.
- (4) 寺尾亨, 小山勉, 高橋浩一, 宮崎芳彰, 橋本卓雄, 小暮太郎, 阿部俊昭. Neurofibromatosis type IIに伴った拍動性眼球突出に対する手術方法. 脳神経外科ジャーナル 1998 ; 7 : 513-18.

- (5) 寺尾亨, 橋本卓雄, 小山勉, **高橋浩一**, 原田潤太, 阿部俊昭. Interventional MRI誘導下定位脳生検術の有用性についての検討—12症例について—. 脳神経外科ジャーナル 1998; 7: 745-751.
- (6) 田中英明, 中崎浩道, **高橋浩一**, 中原成浩, 阿部俊昭. マウス胎生期脊髄神経管由来細胞の分化増殖に対する羊水の影響について 小児の脳神経 1999; 24: 251-55.
- (7) 中崎浩道, 阿部俊昭, **高橋浩一**, 福田隆浩, 大井静雄. 脊髄披裂モデルマウスに対する葉酸投与の効果 —発生率および重症度の検討— 小児の脳神経 2004; 29: 435-439.
- (8) Yamada S, Khankaldyyan V, Bu X, Suzuki A, Gonzalez-Gomez I, **Takahashi K**, McComb JG, Laug WE. A method to accurately inject tumor cells into the caudate/putamen nuclei of the mouse brain. Tokai J Exp Clin Med. 2004; 29:167-173.
- (9) 安達一英, **高橋浩一**, 澤本和延. 脳脊髄液に関する基礎知識: 産生, 循環, 吸収のメカニズム 脊椎脊髄ジャーナル 2006; 19 (5): 329-333
- (10) 高坂直樹, **高橋浩一**, 平沼浩一, 小川武希. 頸部痛・左不全麻痺を主訴とした特発性脊髄硬膜外血腫の1例 慈恵医大誌 2005; 120: 267-270
- (11) 美馬達夫, **高橋浩一**, 國弘幸伸. 脳脊髄液減少症か正常圧水頭症か 診断が困難であった1症例 脳脊髄液減少症データ集 Vol. 1 2007; 103-108
- (12) 美馬達夫, **高橋浩一**. 正常圧水頭症 モダン フィジシャン 2008; 28 (5): 723-727

C 学会発表

- (1) 高橋浩一, 尾上尚志, 田浜公一, 阿部俊昭. くも膜下出血にて発症した脊髄神経鞘腫の一例. 第66回成医会青戸支部例会. 東京. 1991 06 22
- (2) 高橋浩一, 尾上尚志, 田浜公一, 阿部俊昭. くも膜下出血にて発症した脊髄神経鞘腫の一例. 第43回日本脳神経外科関東地方会. 東京. 1991 09 28
- (3) 高橋浩一, 松本賢芳, 西田伸, 結城研司, 中村紀夫. 慢性硬膜下血腫におけるフィブリンおよびフィブロネクチンの局在とその意義. 第52回日本脳神経外科学会総会. 東京. 1993 09
- (4) 高橋浩一, 竹川 充, 村上成之, 谷 諭, 阿部俊昭. 小児に発症した大孔部神経鞘腫の一治験例. 第58回日本脳神経外科関東地方会. 東京. 1995 06 10
- (5) 高橋浩一, 田中英明, 中原成浩, 菊池哲郎, 谷諭, 阿部俊昭, 福田隆浩. 先天性二分脊椎マウス脊髄披裂部における免疫組織学的検討 —GFAPの発現状況からみた病態解析—. 第54回日本脳神経外科学会総会. 名古屋. 1995 10
- (6) 高橋浩一, 村上成之, 阿部俊昭, 渡部和彦, 田中順一. 動眼神経より発生したと思われる小児神経膠腫の一例. 第60回日本脳神経外科関東地方会. 東京. 1995 11 25

- (7) 高橋浩一, 田中英明, 阿部俊昭. 二分脊椎の病態に関する実験的研究 厚生省・神経疾患委託研究5公一3脊髄空洞症及び二分脊椎に伴う脊髄病態及び治療に関する研究. 平成7年度研究報告会. 東京. 1995 12 26
- (8) 高橋浩一, 田中英明, 寺尾亨, 菊池哲郎, 阿部俊昭, 中原成浩. 二分脊椎の発生機序に関する実験的研究. 第47回慈恵医大神経科学研究会. 慈恵医大. 1995 12 18
- (9) 高橋浩一, 田中英明, 寺尾亨, 阿部俊昭, 福田隆浩, 田中順一, 中原成浩. 先天性二分脊椎マウスに伴うChiari II型奇形ならびに大脳奇形に対する免疫組織学的検討. 第24回日本小児神経外科学会. 東京. 1996 5
- (10) 高橋浩一, 田中英明, 中崎浩道, 寺尾亨, 阿部俊昭, 中原成浩. 脊髄披裂の病態に関する実験的研究. 第54回日本脳神経外科学会総会. 富山. 1996 10
- (11) Takahashi K, Tanaka H, Nakahara S, Nakazaki H, Terao T, Abe T. The pathogenesis of myeloschisis; experimental studies. 2nd International symposium of spina bifida. Koube . 1997 9
- (12) 高橋浩一, 中崎浩道, 中原成浩, 寺尾亨, 田中英明, 阿部俊昭. 脊髄披裂の病因に関する基礎的研究. 第25回日本小児神経外科学研究会. 久留米. 1997 5
- (13) 高橋浩一, 中崎浩道, 中原成浩, 寺尾亨, 田中英明, 阿部俊昭. 脊髄披裂の病因に関する基礎的研究 一特に羊水の関与について. 第14回日本二分脊椎研究会. 東京. 1997 7
- (14) 高橋浩一, 中崎浩道, 中原成浩, 田中英明, 阿部俊昭. 先天性二分脊椎マウス頭蓋披裂例における免疫組織化学的検討. 第56回日本脳神経外科学会総会. 大阪. 1997 10
- (15) 高橋浩一, 阿部俊昭, 中村紀夫. 慢性硬膜下血腫被膜の免疫組織化学的検討—フィブロネクチンの局在とその意義. 第21回日本神経外傷研究会. 京都. 1998 3
- (16) 高橋浩一, 中崎浩道, 中原成浩, 田中英明, 阿部俊昭. 頭蓋披裂の病因に関する実験的研究 —GFAPの発現状況からみた病態解析. —第26回日本小児神経外科学研究会. 千葉. 1998
- (17) K. Takahashi, H. Nakazaki, H. Tanaka, S. Nakahara, T. Abe. Experimental study for the pathogenesis of dysraphism on GFAP appearance. ASPN-JSPN Joint Conference USA . 2000 1
- (18) 高橋浩一, 中崎浩道, 中原成浩, 田中英明, 大井静雄, 阿部俊昭. Splotch-delayed mouseを用いた神経管閉鎖不全に関する実験的研究. 第30回日本小児神経外科学研究会. 北海道. 2002 5
- (19) K. Takahashi, H. Nakazaki, H. Tanaka, S. Nakahara, S. Oi, T. Abe. Experimental study for the pathogenesis of dysraphism in the Splotch delayed mouse. The 30th Annual Meeting of International Society for Pediatric Neurosurgery. Kyoto. 2002 10
- (20) 高橋浩一, 大井静雄, 入江是明, 栃木悟, 中崎浩道, 阿部俊昭. 慈恵大学病院総

合母子健康医療センターにおける胎児水頭症の管理と治療指針：PCCH分類に基づく前方視的検討（第1報）．第20回日本こども病院神経外科医会．熊本．2002 12

- (21) 高橋浩一，大井静雄，入江是明，栃木悟，中崎浩道，野中雄一郎，吉野雅美，阿部俊昭 急速な視力障害で発症した第3脳室巨大腫瘍のneoadjuvant chemotherapyとslit化した脳室経由の神経内視鏡下腫瘍生検の術式：Handy rigid-rod neuroendoscopeの応用 第31回日本小児神経外科学会 2003年7月 新潟
- (22) K Takahashi, H Nakazaki, M Yoshino, Y Nonaka, S Oi Management and Treatment Modality for Fetal Hydrocephalus:A Prospective Study based on the Perspective Classification of Congenital Hydrocephalus (PCCH) and Discussion for the Timing of Delivery and Treatment for Progressive Fetal Ventriculomegaly. The International College of Surgeons The 49th Annual Congress of the Japan Section. Tokyo. 2003 06
- (23) K Takahashi, H Nakazaki, M Yoshino, Y Nonaka, S Oi Management and Treatment Modality for Fetal Hydrocephalus:A Prospective Study Based on Perspective Classification of Congenital Hydrocephalus (PCCH) The 18th Japan Neurosurgery English Forum, Okayama 2003 07
- (24) 高橋浩一，大井静雄，入江是明，福住曜子，高尾洋之，栃木悟，中崎浩道，阿部俊昭：慈恵大学病院総合母子健康医療センターにおける胎児水頭症の管理と治療指針：（第1報）PCCH分類に基づく前方視的検討 第7回 日本水頭症治療シンポジウム 2003年4月 出雲市
- (25) 高橋浩一，大井静雄，入江是明，福住曜子，高尾洋之，栃木悟，中崎浩道，阿部俊昭：未熟児脳室内出血後発症の孤立性第4脳室に対し、神経内視鏡的第3、第4脳室底開窓術を施行した1例 第7回 日本水頭症治療シンポジウム 2003年4月 出雲市
- (26) 高橋浩一，大井静雄，入江是明，福住曜子，栃木悟，高尾洋之，中崎浩道，阿部俊昭 神経管閉鎖不全症の新たな分類概念, EPSAC-dysr.に基づく幼弱期脳脊髄の発達可塑性評価（第1報）：二分脊椎初期症例における前方視的分析 第18回日本脊髄外科学会 2003年6月 東京
- (27) 高橋浩一，大井静雄，中崎浩道，野中雄一郎，吉野雅美，阿部俊昭慈恵大学病院総合母子健康医療センター(JWCMC)における胎児水頭症の管理と治療指針：（第2報）進行性胎児脳室拡大例の出生時期と治療の諸問題 第31回日本小児神経外科学会 2003年7月 新潟
- (28) K Takahashi, H Nakazaki, M Yoshino, Y Nonaka, S Oi Disproportionately Large Fourth Ventricle Treated Using Neuroendoscopic Third and Fourth Ventriculostomy During Neonatal Period in a Premature

Baby with Intraventricular Hemorrhage. The 2nd Annual Meeting of International Study Group of Neuroendoscopy (ISGNE). Naples, Italy 2003 09

- (29) K Takahashi, H Nakazaki, M Yoshino, Y Nonaka, S Oi Management and Treatment Modality for Fetal Hydrocephalus: A Prospective Study based on the Perspective Classification of Congenital Hydrocephalus (PCCH) and Discussion for the Timing of Delivery and Treatment for Progressive Fetal Ventriculomegaly. The 31st Annual Meeting of International Society for Pediatric Neurosurgery (ISPN). Monaco 2003 09
- (30) 高橋浩一、谷諭、長島弘泰、磯島晃、阿部俊昭 Subpial spinal lipoma 5手術症例における病態と治療指針の検討 第19回日本脊髄外科学会 福井市 平成16年6月17日—18日 福井フェニックス・プラザ
- (31) 高橋浩一、中崎浩道、谷諭、菊地哲郎、田中英明、阿部俊昭 神経管閉鎖不全の病態に関する基礎的研究と展望 第9回JKWフォーラム 平成16年5月 東京
- (32) 高橋浩一、富井雅人、赤崎安晴、土橋久土、宮崎芳彰、阿部俊昭 一時的に外水頭症の形態を呈した特発性正常圧水頭症の一例 第7回日本正常圧水頭症研究会 平成18年1月 東京
- (33) 高橋浩一、美馬達夫. 外傷後振戦および尿失禁に対し、ブラッドパッチが効果を示した脳脊髄液減少症の一例. 第5回脳脊髄液減少症研究会. 平成19年2月 熱海
- (34) 高橋浩一、美馬達夫、秋葉洋一. シェント術後に、低髄液圧症様の症状を呈し、圧調節に難渋した特発性正常圧水頭症の1例. 第8回日本正常圧水頭症研究会 平成19年3月 仙台
- (35) 高橋浩一、美馬達夫. RI脳槽シンチのRI残存率評価法について—前後像と後前像の平均とすべきか、後前像のみとすべきか—. 第6回脳脊髄液減少症研究会. 平成20年2月 東京
- (36) 高橋浩一、美馬達夫. 小児期に発症した脳脊髄液減少症—発症から診断、治療に至る期間が影響を与える予後についての検討—. 第6回脳脊髄液減少症研究会. 平成20年2月 東京
- (37) 高橋浩一、美馬達夫、秋葉洋一. 起立性頭痛のため圧設定に難渋した特発性正常圧水頭症の2例—その対策とシェントシステムの選択に関する考察—. 第9回日本正常圧水頭症研究会 平成20年3月 金沢
- (38) 高橋浩一、美馬達夫、秋葉洋一. シェント術後に起立性頭痛を生じ、圧設定に難渋した特発性正常圧水頭症の2例. 第21回 日本老年脳神経外科学会 平成20年3月 東京
- (39) 高橋浩一、美馬達夫. 小児期に発症した脳脊髄液減少症—発症原因と臨床像— 第67回日本脳神経外科学会総会 平成20年10月 盛岡